



十八歳の日記と「ハイミス」小説

田

辺

聖

子

いた時代

おせいさん

第1回

2026

2/6 金

第2回

2/20 金

13:30-15:30

受講料 3,000円 (全2回)

定員 60人

「おせいさん」と呼ばれて親しまれた、大阪を代表する作家、田辺聖子。少女時代から古典文学に親しみ、大阪弁でかろやかに恋愛を描き、エッセイの世界でも人生の達人ぶりを発揮したおせいさんは、多くの読者のところをつかんで、昭和から平成へと駆け抜けました。

今回の講座では、近年新たに発見されたおせいさんの十八歳の日記と、彼女の代名詞でもある「ハイミス」小説についてお話いただきます。

令和7年度はじめま専科

昭和100年をふりかえる

シリーズ 昭和

主催 大阪市立阿倍野市民学習センター (指定管理者: 一般財団法人大阪教育文化振興財団)
協力 大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館

田辺 聖子



1928(昭和3)年大阪市此花区生まれ。
樟蔭女子専門学校を卒業後、大阪の金物問屋で働いたのち文学修行を重ね、
1964年に『感傷旅行(センチメンタル・ジャーニー)』で芥川賞を受賞。その後、
『花衣ぬぐやまつわる……わが愛の杉田久女』で女流文学賞、『ひねくれ一茶』で
吉川英治文学賞を受賞するなど、数々の文学賞を受賞し、1995年に紫綬褒章、
2008年には文化勲章を受章。



第1回 2月6日(金)

「女学生田辺聖子と樟蔭女子専門学校 —『田辺聖子 十八歳の日の記録』を読む—」



白川 哲郎

大阪樟蔭女子大学学芸学部リベラルアーツ学科教授。
大阪大学大学院文学研究科後期課程修了。博士(文学)。専門は歴史学(日本史)。
大阪樟蔭女子大学に着任後、自校教育に携わる中で大学の前身である「樟蔭女子専門
学校」についても研究。近年は樟蔭女子専門学校の卒業生である田辺聖子さんに注目
している。大阪樟蔭女子大学自校教育教科書『樟蔭の窓』(非売品)を編集。近著に
「田辺聖子〈知の履歴〉へのアプローチ」(『樟蔭国文学』60号、2024年)。

第2回 2月20日(金)

「田辺聖子書いた〈戦後〉—「ハイミス」ものを中心に—」



住友 元美

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館学芸員。
名古屋大学大学院文学研究科日本史学専攻博士後期課程所定単位修得後退学。
博士(歴史学)。専門は日本近現代史。2007年より現職。田辺聖子文学館特別企画展
「「ハイミス」へのまなざし」(2018年)、「田辺聖子追悼展」(2019年)、「田辺聖子の
闘い方」(2023年)などを企画・運営してきた。田辺聖子が在学した樟蔭女子専門学校
(現大阪樟蔭女子大学)の歴史についても研究。

田
辺
聖
子
が
いた
時
代

おせいさん

申 込 方 法

○インターネット

「いちょうネット」から講座名で検索し、お申込みください

右の二次元コードからもお申込みいただけます ⇒

○電 話 06-6634-7951

○来 館 阿倍野市民学習センターでお申し込みください



いちょうネット



大阪市立阿倍野市民学習センター
大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300
あべのベルタ3階
TEL 06-6634-7951 FAX 06-6634-7954

開館時間：9：30～21：30(日・祝は17：00まで)
休館日：第1・3火曜日
年未年始(12月28日～1月4日)



地震等により災害等が発生する恐れ、または災害等が発生した場合、本講座の開催を中止いたします。

①開催当日午前11時の時点で「大阪市」に「暴風警報」もしくは「特別警報(種類は問わない)」が発令されている場合。

②地震・災害等によりJR大阪環状線およびOsaka Metroの双方が運休している場合。開催が中止となった場合には、センターのホームページ上でお知らせいたします。

【個人情報の取り扱いについて】

■ご記入いただきました個人情報は、講座ご参加の確認や、講座に関するご連絡のためにのみ使用し、お申込みをもって使用に同意されたものとさせていただきます。

■事業者：一般財団法人大阪教育文化振興財団

■個人情報の取扱い、苦情及びご相談に関するお問い合わせ先：個人情報保護管理者代理人一般財団法人大阪教育文化振興財団 総務課長 宛 Tel：06-4963-2527(月～金 10:00～17:00)